令和８年度　幼児教育研修　年齢別運動遊び３・４・5歳児 第２回
「こども主体の保育のための指導計画」
～こどもの姿から考える遊びの環境（週案を通して）
保育を語り合い、言葉を紡ぐ指導計画～
日時：令和８年９月１日（火）１４：４５～１６：４５
会場：足立区役所　庁舎ホール
講師：日本体育大学　児童スポーツ教育学部　児童スポーツ教育学科
教授　　齊藤　多江子　氏

子どもの姿から考える 週案の作成

ワーク1

担当年齢別のグループに分かれて、子どもの姿や環境など、写真を見せながら話し合いました。

◆グループ共有：自分の語りおよびグループメンバーの語りから気づいたこと
保育環境、子どもの姿、保育者の援助等について伝え合いましょう！

自分	メンバー①
メンバー②	メンバー③

□グループでの週案作成

■全体共有を通して

話しを聞いて気付いたことを記録。
気付きはとても大事なこと！

持ち寄った写真等を見せながら、子どもたちの遊びの様子や環境についてなどを話し、共有しています。
語り合い、共有することが大事である。

「こども主体の保育のための指導計画」の冊子を参考に、**具体的な内容**を入れて立ててみましょう。

ポイント

作成のポイント

重要!

★**先週のこどもの姿を振り返ってみる（子どもの実態）**
●何を、**どのように楽しんで**いたのか』『保育者や友達とは**どのようにかかわって**いたのか』子どもの実態を話し、書き出していく。
●こどもの姿（実態）から
・どのようなことを大事にしたいのか
・どのようなことを経験してほしいのか
・どんな風に育ってほしいのか
など、考えていく。

『何を』の部分を具体的に書いていく。ここが大事！

↓ 実態から**具体的に**書き出したことが

ねらい となっていく（「子どもが」が主語になる）

↓ 立てる時には・・・・

資質・能力（3つの視点）、5領域にも目を向けてみましょう
「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」

ワーク2

グループ内で共有後した後は、子どもの実態を一つ選び、その実態に対して週案をグループ内で作成してみました。

実際に見られた姿、やっていたことなどを書く（過去のこと）。

重要！

今の子どもの姿から
・どういうことを大事にしたいのか
・どういう風に育ってほしいのか
・どういうことを経験してほしいのか
など、**「何を」の部分を具体的に**書いていく。

歳児　週案　月

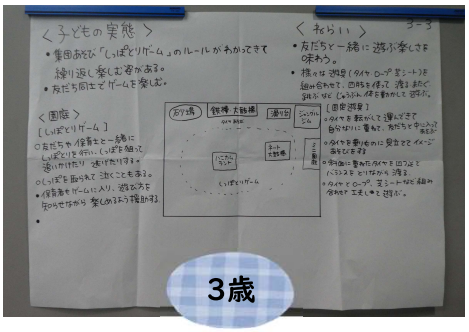
<子どもの実態>

<ねらい>

○予想される子どもの姿　★環境構成　●保育者の援助

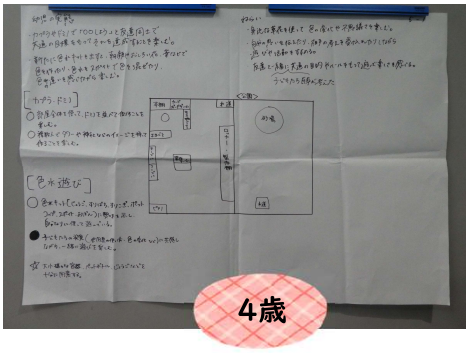
環境図

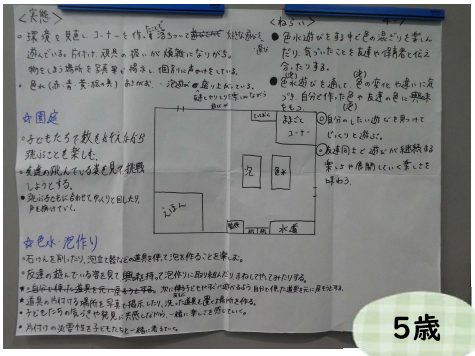
予想される子どもの姿
（**領域にも目を向けて**考える）
こどもたちが**「経験するであろう」ことを複数の視点から予想**してみる。



しっぽ取りゲームのルールが分かってきたことで、友達同士でも楽しめるようなってきた実態から、その楽しさを友達とじっくり味わえるようになってほしいという保育者のねがいがねらいに込められている。

朝顔を使って色水作りを楽しむ姿から赤・青・黄色の絵具、色水キッドを用意した（出会い）。子どもの姿から、必要な環境を用意することが具体的に書かれている。書かれていることで、次の環境を用意する時の参考になる。





友達と共通の目的をもって遊んでいる姿があり、友達に自分の思いを伝えたり、友達の遊びに興味をもつという実態から立てられたねらい。色を混ぜたり混ざり合うことを楽しむ姿や気付きを伝え合う姿の実態から、ねらいがつくられている。視点を言葉にすることで、より具体的なねらいになっている。

研修生の報告書より

★グループ共有や全体共有を通して、週案を立てる際の子どもの姿に応じた環境構成や保育者の援助について、様々な園の考えや工夫を知ることができた。似たような活動でも、年齢や子どもの姿に応じてねらいが変わることを実感し、子どもの発達や興味・関心に合わせて、見通しを持って計画を立てることの大切さを改めて学んだ。　（3歳児担任）

★話し合いながら週案を作成していくと、子どもたちの色々な姿が見えてきたり、あんなことをしたいという願いも出てきたりと様々な意見が重なりとても具体的で現実的な週案が作成された。話し合いの中で思いのすり合わせをする作業も自然と出てき、日ごろもこういった話し合いの場が必要なんだなということを改めて感じさせられた。
1日5分でも、そういう時間を取るよう心掛けていきたいと思う。　（4歳児担任）

★「ねらいをより具体的にするとよい」とアドバイスをいただき、「ルールのある遊びを楽しむ」というねらいから、「ルールのある遊びを友だち同士で説明したり、保育者と一緒に楽しんだりする」と具体的に設定した。ねらいを具体化することで、活動を進める中でも「友だち同士で説明する」という場面を意識して見守ることができた。　（5歳児担任）